

2026 年 9 月 30 日
株式会社ピエクレックス

アパレル廃棄の課題と、P-FACTS による「着るグリーンテック」を説明
**ピエクレックス代表・玉倉大次が
高市総理を表敬訪問**

～GREEN×EXPO 2027 の公式ユニフォームを通じ、日本発のグリーンテックを発信～

株式会社村田製作所の完全子会社である株式会社ピエクレックス（本社：滋賀県野洲市）の代表取締役社長・玉倉大次は、2026 年 9 月 28 日（月）、GREEN×EXPO 協会の筒井義信会長らとともに高市早苗内閣総理大臣を表敬訪問しました。当日は、アパレル製品の大量廃棄という課題と、当社が推進する循環インフラ「P-FACTS」（ピーファクト）をご説明するとともに、GREEN×EXPO 2027 のアテンダントスタッフ・ボランティア公式ユニフォームの実物を示し、Team P-FACTS として取り組む「着るグリーンテック」をご紹介しました。



表敬訪問の様子（映像）

玉倉による説明部分を抜粋・編集した映像は、以下のページでご覧いただけます。

<https://pieclex.com/news/20260930.html>

※首相官邸が公開した映像を株式会社ピエクレックスが抜粋・編集しています。

出典：「横浜グリーンエクスポに関する表敬」（首相官邸ホームページ）

<https://www.kantei.go.jp/jp/105/actions/202609/28hyoukei.html>

【関連ページ】

首相官邸 YouTube https://youtube.com/shorts/iKV84pG1_Es

国交省 X https://x.com/MLIT_JAPAN/status/2104539008131092673

■ アパレル廃棄の課題と「着るグリーンテック」

当日、玉倉は、アパレル製品の大量廃棄という課題に触れました。衣服は繊維だけでなく、ボタンやファスナーなど複数の部材からできており、使用後の循環には素材に加えて製品設計や回収の仕組みが必要です。

当社が推進するアパレルの循環インフラ「P-FACTS」（ピーファクツ）は、生分解性※1 を持ち自然に還る素材を中心に活用し、生分解しない部材の取り外しも考慮した製品設計から、使用後の回収、堆肥化までをつなぐ仕組みです。玉倉は、生分解性※1 素材とこの循環の仕組みを組み合わせた取り組みを「着るグリーンテック」として説明しました。

※1 生分解性とは、一定の条件下で水とCO₂に分解される性質を指します。国際規格であるISO 14855-1（JIS K 6953-1）規格に準拠しています。



■ Team P-FACTS（チーム・ピーファクツ）として GREEN×EXPO 2027 から発信

株式会社ピエクレックスが代表構成員を務める「Team P-FACTS（チーム・ピーファクツ）」は、GREEN×EXPO 2027 にプロジェクト協賛のプラチナパートナーとして参画しています。

同博覧会では、1万人規模のアテンダントスタッフ・ボランティアが着用する公式ユニフォームを提供します。生分解性素材を使い、着用後の回収・循環まで見据えたユニフォームを通じて、日本発の「着るグリーンテック」を国内外の来場者に伝えてまいります。

Team P-FACTS チーム・ピーファクツ

植物から生まれ、植物へ還る。
アパレル・繊維製品の新しい資源循環へ。
多様な企業や団体が連携し、循環の資源循環を社会の仕組みとして実現する。
Team P-FACTSは、GREEN×EXPO 2027を機に、
1万人以上が着用するユニフォームで循環モデルを牽引します。

場 所 新しい植物へ
回収された繊維製品から生まれ、植物の力で再生された繊維は、再び土に還り、新たな植物として生まれ変わります。GREEN×EXPO 2027では、会場内に設置する植物園でアパレルと土のつながりを体験できます。

回収・堆肥化 捨てずに、土へ還す
会場内に設置する回収ボックスで回収されたユニフォームは、専用の施設で堆肥化され、新たな植物の土壌改良剤として再利用されます。回収されたユニフォームは、会場内に設置する植物園でアパレルと土のつながりを体験できます。

主 目 1万人以上の活動を心地よく、快適に
会場内に設置した回収ボックスで回収されたユニフォームは、専用の施設で堆肥化され、新たな植物の土壌改良剤として再利用されます。回収されたユニフォームは、会場内に設置する植物園でアパレルと土のつながりを体験できます。

特 徴 植物から始まるアパレル
Team P-FACTSは、植物由来の繊維素材を中心に、環境にやさしい素材を採用しています。回収された繊維製品は、専用の施設で堆肥化され、新たな植物の土壌改良剤として再利用されます。回収されたユニフォームは、会場内に設置する植物園でアパレルと土のつながりを体験できます。

特 徴 「土に還る」繊維
植物由来の繊維素材を採用しています。GREEN×EXPO 2027の公式ユニフォームには、植物由来の繊維素材を採用しています。回収された繊維製品は、専用の施設で堆肥化され、新たな植物の土壌改良剤として再利用されます。回収されたユニフォームは、会場内に設置する植物園でアパレルと土のつながりを体験できます。

主 目 循環を考えたものづくり
繊維製品は、生地だけでなく、ボタンやファスナーなど、様々な部材から構成されています。GREEN×EXPO 2027では、ボタンやファスナーなど、すべての部材が環境にやさしい素材で構成された製品設計を目指します。回収された繊維製品は、専用の施設で堆肥化され、新たな植物の土壌改良剤として再利用されます。回収されたユニフォームは、会場内に設置する植物園でアパレルと土のつながりを体験できます。

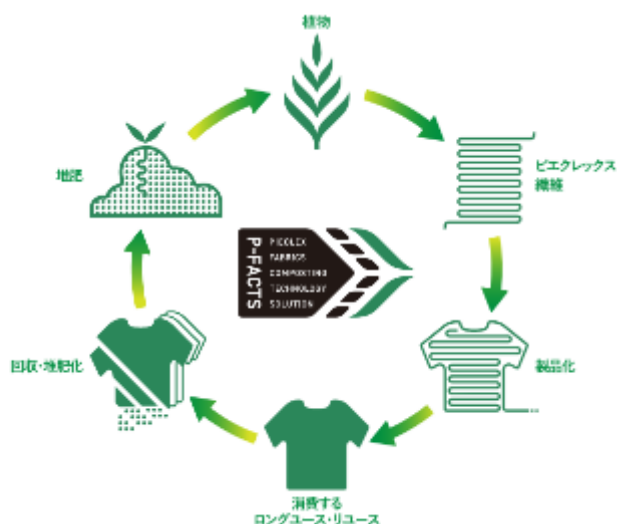
パートナー
PIECLEX, Mita Japan, mofuta, LARCH, NIKKE, Mita Japan, Mita Japan

■「P-FACTS」(ピーファクト)について

「P-FACTS」(ピーファクト: PIECLEX FABrics Composting Technology Solution) は、ピエクレックス社が植物由来のポリ乳酸素材「電気の繊維」ピエクレックスを使用したアパレル製品や繊維製品を回収し、堆肥化までを一貫して行う循環インフラです。多くのパートナー企業、自治体、福祉施設、学校法人などのステークホルダーと連携し、既に運用が始まっています。

この循環インフラは、地域で使用された製品を地域で再利用する「地着・地消・地循」の考えに基づき、消費者が簡単に参加できる持続可能なファッション社会の実現を目指しています。「P-FACTS」に対応する製品には、「堆肥化し新しい植物を育む」ことを保証する P-FACTS 認証マークが付与されており、環境にやさしい選択肢を提供しています。

PIECLEX
FAbrics
Composting
Technology
Solution



P-FACTS 認証マーク

繊維が堆肥となり、新たな植物が芽吹く様子をデザインしています。

■ GREEN×EXPO 2027 開催概要

名 称 : 2027年国際園芸博覧会

(International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan)

正式略称 : GREEN×EXPO 2027 (グリーンエクスポニーゼロニーナ)

開催場所 : 神奈川県横浜市

開催期間 : 2027年3月19日(金)~2027年9月26日(日)

テーマ : 幸せを創る明日の風景 ~Scenery of the Future for Happiness~

博覧会区域 : 約 100ha(内、会場区域 80ha)

クラス : A1(最上位) クラス(AIPH 承認+BIE 認定)

有料来場者数 : 1,000 万人以上

公式サイト : <https://expo2027yokohama.or.jp/>



公式マスコットキャラクター
トウキョウトウキョ

■ 株式会社ピエクレックスについて

株式会社ピエクレックスは、イノベーションを通じて世界に貢献する村田製作所の 100%子会社として、企業ビジョン「“でんき(電気)のせんい(繊維)”で世界を変える」を掲げ、電気の繊維「ピエクレックス」を通じた革新を推進しています。当社は、村田製作所と帝人フロンティアの共同出資によって設立され、両社の強みを融合させた新素材「ピエクレックス」を開発しました。ピエクレックスは革新性ととも環境へのやさしさを兼ね備えており、アパレル、ヘルスケア、一般消費財、産業分野など、幅広い用途に応用可能です。

現在、ピエクレックスは多くの繊維関連企業と協力し、持続可能な社会の実現に向け、循環インフラ「P-FACTS」（ピーファクツ）の社会実装に取り組んでいます。P-FACTS 認証の製品を「着るだけ、使うだけ」で、地球にも人にもやさしい未来を実現するために、今後も新たな価値を創造し続け、社会に貢献してまいります。

■ GREEN×EXPO 2027 にプラチナパートナーとして参画

株式会社ピエクレックスは、GREEN×EXPO 2027 において、当社が代表構成員を務める「Team P-FACTS（チーム・ピーファクツ）」を通じて、会場運営プロジェクトのプラチナパートナーとしてアテンダントスタッフおよびボランティアの公式ユニフォームを提供します。加えて、当社単独でも、にぎわい創出プロジェクトのプラチナパートナーとして参画し、来場者の体験価値創出にも取り組んでまいります。



公式サイト：<https://pieclex.com/>

公式 YouTube チャンネル：<https://www.youtube.com/channel/UCAoOivJOKh2MEDywpvSLXGA>

公式 X アカウント：https://x.com/PIECLEX_JP

公式 Instagram アカウント：https://www.instagram.com/pieclex_official/

「本件に関するお問い合わせ先」

株式会社ピエクレックス（担当：井上）

TEL：077-586-8135 MAIL：information@pieclex.com